

## 南長浜地域まちづくり検討会議 要点録

I 日 時 令和5年9月1日（金曜日）15時00分～17時05分

II 場 所 長浜カイコー（長浜市北船町3-24 えきまちテラス長浜1階）

III 出席者 岩崎 博論委員（委員長）

久木 裕委員 川村 美津子委員 大橋 優子委員

田中 康仁委員 宮部 広成委員 渡壁 佑樹委員

小林 大英委員 中村 友洋委員 藤居 海好委員

草野 丈太委員 高部 格委員

【事務局】 未来創造部 中嶋部長

政策デザイン課 柴田課長、服部課長代理、饗場副参事、野村主査

都市計画課 西尾副参事、和田主査

道路河川課 中川副参事

## IV 内 容

### 1 開 会

事 務 局 開会を宣言

### 2 委員長あいさつ

委 員 長 直近の研究経緯等紹介

### 3 関係者の出席

委 員 長 南長浜地域まちづくり検討会議開催要領第5条に基づき、意見聴取および資料提供関係者として、株式会社日本総合研究所の段野氏と今泉氏、武蔵野美術大学の福原氏と河合氏の計4名について出席を求めた。

### 4 議 事1

(1) 8/22 および 8/24 開催 南長浜フィールドワーク参加者の感想

事 務 局 ・資料に基づき、南長浜フィールドワークの経路等を説明。

参加委員の感想

委員 予備知識がない状況で話を聞いたが、自然環境から神社やお寺などまで広範囲であり、フォーカスすべき焦点が見えていない。今返答は必要ないが、市の考えを聞きたい。

質問は5つ。

- 事務局 ① この会議のビジョン、目標は何か。  
地域資源を生かした発展に向けて、コンセプトづくりを進める。その後、必要となる施設や機能についても、考えていきたい。
- 委員 ② 南長浜を盛り上げるのか、施設を活用するのか、長浜全体のプランづくりなのか。
- 事務局 南長浜という地域特性を活かした発展を考えたい。市全体を踏まえつつ南長浜をどうしていくかべきか、など。
- 委員 ③ (仮称) 神田スマートICの経緯
- 事務局 地域の要望。スマートインター整備の話から始まり、地域のまちづくりへ波及している。
- 委員 ④ 市長の交替の影響
- 事務局 表現の若干の違いはあれど、南長浜の発展は共通している。
- 委員 ⑤ 住んでいる人の問題・課題は何か。
- 事務局 各地域づくり協議会で、アンケートを実施されている。現在集計中のものもあると伺っているため、後日共有したい。
- 委員 南長浜という大きな括りではなく、六荘、神田、西黒田などのエリア単位の方がいい(扱いやすい)かも。  
南長浜地域はノットウオーカブル。  
地域単位ごとにどうやって賑わいを作るのか考えていくほうが分かりやすいと感じた。
- 委員 仕事では滋賀県、福井県、京都府、大阪府に関わる。  
地元の方の地域への思いを壊さない方向性が重要ではないか。  
近隣に様々な施設がある中で、競合せず共存していくことを考えると、勝ち目のないまちづくりになりかねない。
- 武蔵野美術大学 神田まちづくりセンターが印象に残る。子供が遊べる場所が残っている。美大ということもあり、一般人にはウケないかもしれないが、「ハスの残骸」に目を引いた。
- 福原氏 景色も綺麗。歴史的な街と都会的な街とのバランスがよい。
- 河合氏

## 6 議事2

### (2) 8/31 開催 南長浜年代別インタビューの報告

委員長 武蔵野美術大学と日本総研によるインタビューを実施した。中学生、高校生、大学生から70歳台まで、総勢20名の方からお話しを伺った。結果を日本総研から報告をお願いする。

日本総研 資料に基づき、年代別インタビューの結果を報告。  
段野氏  
今泉氏

## 7 意見交換

- 委員 南長浜のみをどうしていくという感想はないが、地域の人が地域のことを考えるべき。我々は伸び代をサポートする。  
長浜全体を考えた中で、検討会議で、南長浜の位置づけを考えたい。あまり大きく変えたくないという意見が多かった印象を受けた。  
また、交通の便を課題にする意見が共通して多いのではないかな。
- 委員 南長浜ってどこ？ピンとこない。  
農業に従事しているが、年間1町、2町と耕作依頼があり、年々増加していつている。  
地域ではリターンしてきた同級生も増え、若者が減っている印象はない。高齢者が減っていくだけ。
- 委員 インタビューの意見にもあったが、子どもが遊ぶ場所が少ない。  
先日、グリーンパーク山東の新しいアスレチックに行ったが、とても面白かった。あのような施設が増えるといいと思う。
- 委員 米原市の施設をPFI事業として受託しているが、当初市整備したものを作り替えていつている。行政は作ることが目的になりがち。我々は時代に合わせて使っていただけるように更新し続けている。  
行政は無駄な投資にならないように、運営は民間に任せ、大きな投資はしない方がいいように思う。民間が動きやすいように規制緩和をしていただきたい。
- 委員 若い世代が自然を守ってほしいと思っていること、またその意見が多いことに驚いた。  
高齢化が進み地域行事はできなくなっている。神輿も何年も担がれていない。
- 委員 地域に子どもがいなくても、地蔵盆は実施している。  
行事はしたいが、運営する側に回るのは嫌になりがち。  
継続は難しいが、子どもたちの思い出に残るため、できる限りは守っていききたい。
- 委員 ヒアリングで今のまま残したいという意見が多かったが、自然を守るからと言って、何もしないということではダメだと思う。  
自然との調和に配慮しつつ、開発は必要。整備できるように規制緩和してほしい。  
グリーンパーク山東でも、自然を活かすために開発（施設整備）されている。
- 委員 今後、学校の統合などが進めば、空いた校舎で何か人が集まるような事業が出来ると良い。
- 委員 地域の人が、自然を守りたいと言っていたのは意外であった。もっと何かを作って欲しいという意見が多いと思っていた。

委員 南長浜を、長浜市全体や米原市を含めた視点で捉えた方が良いのではないかと思う。

浅井カルチャー&スポーツビレッジに先日行ったが、とても良いところだった。南長浜でも知られていないところがまだまだあるのではないか。どこにも言える話だが、情報発信は重要。

委員 黒壁や曳山等、南長浜地域に中心市街地が含まれている印象。インタビューのターゲットも偏っていた印象。

地域ごとにインタビュアーを選抜されているものの、パブリックマインドを持った子が集まっているような印象もない。改めて地域に目を向けてもらい、率直な感想が聞きたい。

## 7 その他

事務局 ・今後のスケジュール等について説明

第3回は、10月3日（火曜日）14時30分～（予定）

会場は神田まちづくりセンター（予定）

以上